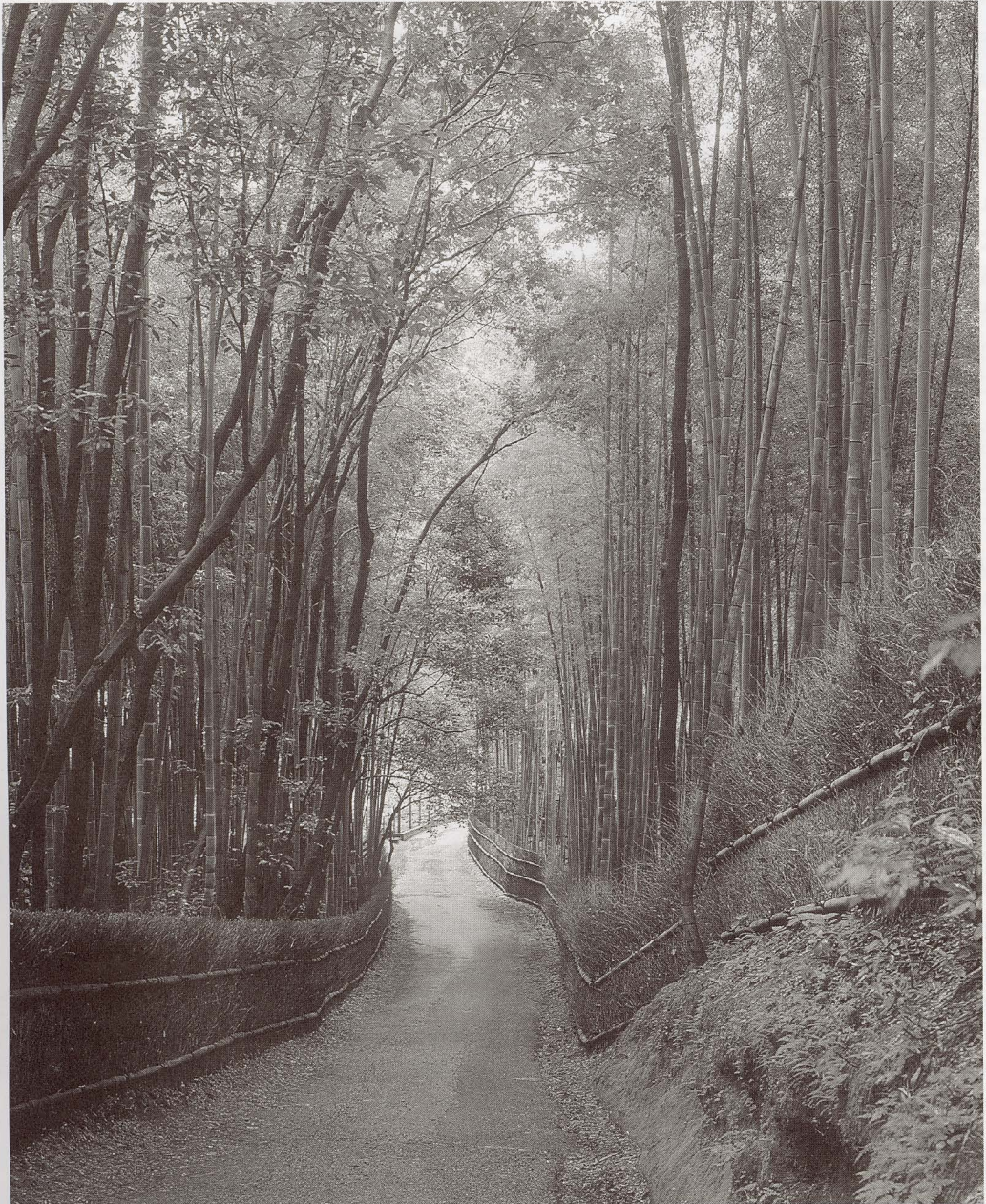


東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒101 東京都千代田区神田小川町3-11 インペリアル御茶の水901
金網社会保険労務士事務所 ☎03(3291)4167 発行人 金網久夫



京都 嵯峨野

支部長就任のご挨拶



千代田・中央支部長

金網 久夫

私は去る4月12日開催の第18回定例支部会議において、皆さま方より山本前支部長の後任として推挙され、このたび羽鳥東京会長から委嘱を受けて、千代田・中央支部長に就任いたしました。

諸先輩の築いてこられた伝統と名誉ある千代田・中央支部をさらに発展させるため全力を尽くしてまいりますので、会員の皆さまには何卒よろしくご支援・ご協力をお願いいたします。

幸い8人の副支部長をはじめ、新役員に就任された方々は、それぞれ経験と能力に富まれた方々ばかりであり、皆さんと力を合わせてその責務を全うしてまいりたいと思います。

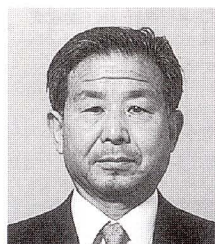
ご承知のように千代田・中央支部は720名に及ぶ多数の会員を擁しています。これら多数の会員が一人でも多く参加し、その意見を反映した支部活動ができるよう心がけてまいりたいと思っています。

事業計画としては、支部会議で発表になっていきますが、それらを実現するには各地区の活性化と委員会活動の活発化をお願いしたいと思います。

また各種行政機関との連携も深め、業務の円滑化を進めたいと思います。

いま毎日の新聞をみると、労働、社会保険制度や労務管理の記事が載らない日はありません。また私たちはみな東京の中心地でそれぞれ仕事をしています。世の中は非常に厳しい時ですが、この「天の時」「地の利」に加えて前支部長のいわれる「和」の精神で進めば千代田・中央支部は夢と希望のあふれる支部です。前任者同様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

政連支部会長就任のご挨拶



政連千代田・中央支部会長

山本弘之

去る4月12日、第9回定期支部大会で、松林前支部会長の後任に推挙され、就任いたしましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

ご案内のとおり、私は本会の支部長を退任したばかりでご辞退申しあげましたが、過去に本政連の幹事長を二期務めた経験から強く推され、お引受けした次第であります。

もとより非力でありまして、皆さんのご期待に応えられるかどうか、はなはだ不安であります。しかしながら、千代田中央支部は伝統ある支部でありまして規模と人材の面では事欠きません。

私のモットーであります「和」を重んじ、皆さんと力を合せて目的達成のため全力を尽くしたいと存じます。

ことに本年は地方選にはじまって、参議員選さらには解散総選挙も巷間伝えられ、まさに選挙の当たり年です。

私どもの社会保険労務士法は議員立法によって生まれた制度であり、党派を超えて賛同いただける議会の先生方には、ぜひともご協力をいただかねばなりません。

承認された運動方針に沿って制度発展のため、積極的に取り組んでまいる所存でありますので、一層のご支援をお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

千代田・中央支部機構と委員会分掌業務表

支部長

金綱 久夫

TEL (3291)4167

FAX (3291)4163

副支部長

柏木 弘文

TEL (3295)4651

FAX (3295)4650

副支部長

沢崎 昇

TEL (3581)1231

FAX (3581)1611

副支部長

関口 武

TEL (3662)7701

FAX (3662)7706

副支部長

浅香 博胡

TEL (3252)6123

FAX (3252)5742

副支部長

渡邊 和洋

TEL (3574)7572

FAX (3571)7235

副支部長

石井 弘

TEL (3242)5301

FAX (3241)3260

副支部長

橋本 敬司

TEL (3262)1433

FAX (3262)1474

副支部長

門馬 高德

TEL (3551)3523

FAX (3551)3569

監査

雨宮 功

葛西 毅

TEL (3863)7633

TEL (3861)7291

FAX (3863)7634

FAX (3861)7438

総務委員会

1. 会員の掌握、連絡に関する
こと

2. 文章の起案、発受信保管等
庶務に関すること

3. 関係官庁等渉外に関する
こと

4. 金銭出納、予算、決算等
会計に関する
こと

5. 諸会議の開催

6. その他、他の委員会に属
さない一切の事項に関する
こと

委員長 松林清雄

(3553)9601

(3555)9823

副委員長 宮本義信

(5256)5618

(5256)8358

委員 石川英豊

(3541)4550

(5565)3308

仲野三郎

(3253)6966

(3253)2035

石原健三

(3294)5307

(3294)9345

古川泰一郎

(3263)1781

(3239)2248

吉瀬君江

(3532)7908

(3532)7908

岡本晃一

(3862)7541

(3862)9145

新堀英行

(3254)1955

(3254)1953

山本弘之

(3263)0931

(3265)7746

相馬誠一

(3251)5141

(3251)5142

佐藤信幸

(3265)0301

(3265)0340

委員長 森 才一

(3532)1534

(3532)1569

副委員長 石野喜次

(3272)2338

(3272)2333

委員 赤森伸子

(3543)2069

(3543)2090

玉上信明

(3286)8688

(3286)4666

大槻哲也

(5275)2801

(5275)2588

米川文三

(3265)3201

(3264)2714

横尾直子

(3234)5274

(3238)1813

渡邊数門

(3292)5001

(3292)3186

森萩忠義

(3865)9521

(3865)9524

委員長 岡 三徳

(3572)8646

(3572)8673

副委員長 新井功一

(3230)1751

(5210)7263

委員 牧野武夫

(3333)1822

長森敏泰

(3264)6871

(3234)0049

松山敏子

(3561)3051

(3561)9327

國岡喜久

(3261)5653

(3261)5667

渡邊 昇

(3238)0941

(3238)1047

桐生和喜男

(3666)6351

(3666)6352

渡邊義己

(3272)0111

(3271)5604

委員長 真島 功

(3264)2361

(3239)6127

副委員長 富田秀子

(3206)9245

(3206)9247

鈴木 滋

(3221)9552

(3221)9516

委員 恩田和明

(3256)4451

(3256)4452

笠原正造

(3263)0931

(3265)7746

山崎雅也

(3669)0677

(3669)0679

望月敏夫

(3218)1951

(3218)1959

順不同・敬称略



東京国際大学教授

志津野 知文氏

日時 平成7年3月17日(金)

場所 電設健保会館

「CI戦略と企業再生」

中小企業 いかに生きるべきか

博報堂の広告マンとして25年、大学で専攻した心理学は趣味とし、中小企業大学校の指導にもあたる志津野氏が大事にするのは、生活の中から生まれる真に必要な製品づくり。そして、これからの時代を生きぬくにはマインドリストラ、考え方を变えて、日本人の心にある特殊性の殻を破っていくことが必要だと説く。

その一手段として、日本におけるCIのあるべき姿を聞きながら、中小企業ならではの進むべき道を考えたひとときだった。

自分自身のリストラを

今日の副題に、「いかに生きるべきか」とありますが、生き方に妙手などありません。大切なのはマインドリストラ、考え方を变えることです。ことに、日本人の場合は考え方に癖がある。まず、この日本人の心の奇妙さを知ることが、マインドリストラの第一歩になります。

そこで過去の日本人論などにあたり、日本人の心の特性についていくつかの現象を拾い出してみました。その核にあるのは、自我の不確実性、道徳の不在、そして自分で考えて動こうとしない思考停止といったものです。こういったことの影響を受けて、日本人の心の特徴として次のようなものを考えてみました。

まず、学校などをイメージで選んでしまうイメージ主導、流行に後れまいとする時流融合タイプ、歴史的健忘症、そして「そろそろお嫁に行かなければ」というように、人生の節目を世間並みに通過することに気を使う節目過敏性もあります。また、「旅の恥はかきすて」的な一回主義で、かつ刹那主義、他人のために尽くそうという気持ち

が薄く、現世利益中心で社会益を考えない。占いに頼る運命依存型でもあり、「おじぎは15度に」といった形式に埋没しがちでもある。肩書き先行の顔なし病、有名、一流病の見栄っぱり、都会志向で田舎と思われまいとする。異端は排除し、人の目を気にして村八分を恐れる、外れまいとするといったことなどです。

この中の、時流に「後れマイ」、「田舎と思われマイ」、群れから「外れマイ」に「見栄っぱり」を加えた「三マイ一パリ」という特徴のおかげで、新しいもの、みんなが買うもの、東京やパリではやっているもの、ブランドものなどはよく売れました。広告、マーケティングも、ここを攻め立てていますが、これは邪道です。「生活起点」、つまり生活の目でものを見て新しいものを考え出す、人々の不満、願望、課題をどうしたらいいかを考えて新製品を開発する姿勢がいちばん大事なのです。

これまでうまく作用していたこういった特性も、異質の文化が入ったり、日本本来の仕組みが崩れてくると逆にマイナスになってしまいます。ですから、経営者も従業員も、そこを変えないと対応できない。いかに生きるべきかを考えるとき、

こういった自分の中にあるものを否定していくことが必要なのではないでしょうか。

CIの本分は組織活性化にあり

そこでC Iの話に入りますが、これは先ほどのマインドリストラ、考え方の変革に役立つものです。

私が教えている中小企業大学校のゼミで、ある会社の労務管理体制をチェックして改善点を提言したことがありました。問題がいくつか挙げられましたが、ではそういった問題をどうやって改善していくか。経営者に説明して直していくのも手ですが、そうせずに横からスッと変えてしまう。それが、C Iの一つの使い方です。

C Iは企業の（のれんづくり）で、みんなでのれんを作っていくことだと思います。C Iには建前と本音があって、建前の目的はセールスプロモーションです。のれんをつくり、販売を促進する。新しいのれんをつくり、一丸となって企業の特性を世に訴えれば、取引業者、消費者、行政までもが、すばらしい会社だと見直してくれる。しかし本音は、C Iを通じてモラルアップ、士気を高め、組織活性化をすることで、これによってマインドリストラが可能なのです。

のれんが有名になり、会社の姿勢がイメージ的にはっきりすれば、従業員も安心して仕事ができ、あるいはもっと刷新してやろうという気構えができます。経営者も、自分の会社の方向を常に見ないといけない。これが日本型C Iです。

「ヘソ」のあるCI活動を目指せ

それでは、C Iはどうやるのか。その第1段階は、ヘソづくり、何を芯にするかを決めることから始まります。新製品がヘソになる場合もあるでしょうし、サービス、会社の歴史そのものがあることもあります。これは一種の実体であって、実体がないと記号であるキャッチフレーズは消えてしまう。たとえば銀行がC Iで輝かしいキャッチフレーズを流しても、サービスの実体が伴わなければ意味がないことになります。

先ほど「生活起点発想がいちばん大事だ」と言

いましたが、そういう製品を開発している会社にはヘソがある。ヘソという実体があってはじめて、「皆さんの生活のための会社」などといった記号も意味を持ってくるのです。

次に、対象層の決定、誰を相手にするかを決め、それぞれに対してどういう言い方が必要かを考えます。たとえば20～30代の女性消費者が対象で、ヘソが「生活のための製品開発」なら、ヘソとターゲットを結びつけてどう表現するか。その訴え方が、コンセプトということになります。そして、「生活のためにいろいろな製品をつくり、世のためにやっています」というコンセプトにしたなら、次はこれをどんどん表現化していく。C Iというとロゴ、包み紙をどうするかなどが先行しがちですが、大もとはヘソとターゲットとコンセプトなのです。ここを決めてやらないと、ガラガラと崩れてしまうことになります。



そのあとは、どの媒体を使って伝えるかです。新聞、雑誌、ラジオ、テレビもありますが、中小企業の場合はチラシ、ラジオスポット、さらに従業員のお客さんへの接遇態度も媒体になるでしょう。こういったことを全部決め、マニュアルをつくり、社員に徹底する。実施管理をやり、調査してチェックする。これが普通のC Iの進め方です。

繰り返しになりますが、ヘソを探す、ターゲットを決める、コンセプトを設定するの三つをやっておけば、表現はどうとでもなる。この三つを社内で徹底的にやれば、一貫性のある会社の姿勢を社の内外に伝えることができ、従業員も巻き込んで、組織活性化、モラルアップから、マインドリストラへとつながる道が見えてくるのではないのでしょうか。

地球色の 日焼け！



元青年海外協力隊
音楽隊員
熊谷晴美さんの
体験談から要約

青年海外協力隊の音楽隊員として、ジンバブエの学校で2年間音楽の指導をし、帰国して2年になります。

実はジンバブエという国名は聞いたことはありましたが、どこにあるのか知らず、また海外生活に不安がありました。

そこで、とりあえず青年海外協力隊事務局にどんな国ですかと電話したりしましたが、広尾訓練所で言葉と任国の事情、健康とか保健衛生について、77日間の講義と訓練生活を受けました。

それではジンバブエの話に入りますが、ジンバブエという国を知っている方はいらっしゃいますか？またジンバブエが独立する前の国名を知っている方は？（ローデシア＝知っていたのは一人だけ）。元英国の植民地です。

ジンバブエの国名の由来は、原地語で「ジンバ」とは家のこと、全部で「石の家の国」という意味になり、自然につみ重なったような岩がたくさんあったりとか、石の造形物のある公園が多く見られました。

周りの国といいますと南アフリカ、モザンビーク、ザンビアです。ジンバブエはそれらの国に囲まれた

内陸国で、面積は日本より少し大きく、人口は1000万人足らず、とにかく国が広々と感じられました。

気候は亜熱帯気候で乾燥しています。雨季が10月から3月。今は6月なので乾季ですが、平均気温はだいたい25、6度くらい。乾燥しているので暑さは感じません。

とにかく7月とか8月は寒くて、信じられないかも知れませんがセーターを着ていましたので、アフリカって寒いんだなあ実感しました。

住んでいる部族は主にショナ族とンデベレ族。あとは少々の白人、中国人、インド人。

言葉は主に英語ですが、学校では英語、家とか友達同士では現地語を使います。

宗教はキリスト教、イスラム教、土着宗教がありますが、キリスト教徒が一番多く、学校の集会等では必ず賛美歌を歌います。

現地の言葉でショナ語は日本語に似た発音が多く、日本の姓で「松岡」という姓名がありますね。それが「マツウーオカー」と発音すると「あんた帰ってきたんだねえ」という意味になるそうです。

協力隊の隊員に「桜井誠」という隊員がいましたが、ショナ語で「サクライ＝穴を掘る」で「マコト＝種を蒔く」となり、「穴を掘って種を蒔く人」といわれていました。

私の名前は「晴美」ですが、ショナ語で「アルミ」という言葉があり、「あなたの名前は」と聞かれ、「ハルミ」と答える皆が笑います。わけを聞くと、それは「アルミ＝嘘まないで」という意味で「とても怖い名前」と、また笑われました。

あるとき学校の警備員に自己紹介され、「いつ日本に帰るんだ」と聞かれ、「2年くらい先かな」と答えると、「2年後に一緒に日本へ帰って、日本で結婚式を挙げよう」といわれ、突然のプロポーズに驚くことがしばしばありました。

★お話はほんの一部しかご紹介できませんが、熊谷さんは「またジンバブエにはぜひ行きたい」とのことでした。

★『参考資料』平成5年度協力隊々員数

① 現職参加者 232	①の内訳
② 退職参加者 510	国家公務員 3
③ 無職参加者 240	地方公務員 94
	政府機関 1
	企業・団体職員 134

★平成7年5月現在派遣国・職種・人員

①アジア 15	④中南米 13	合計
②中近東 4	⑤オセアニア 8	54カ国
③アフリカ 11	⑥東欧 3	

★現在派遣職種176職種（総職種239）

男1253人 女974人 合計2227人

委員会報告

第1回幹事・監査会議

平成7年5月16日(火) 電設健保会館

報告事項

- 1) 第18回定例支部会議等開催結果について
- 2) 部会ならびに委員会活動について
- 3) 平成6年度確定収入支出計算報告について
- 4) 東京会の報告について
- 5) その他

協議事項

- 1) 役員の職務分担について
- 2) 平成7年度予算配分について
- 3) 平成7年度事業計画について〔第1四半期〕
 - ㏐) 平成7年度第1回例会・研修会について
 - ㏑) 平成7年度第2回例会・研修会について
 - ㏒) 算定相談コーナー打ち合わせについて
 - ㏓) その他

新会員の紹介

入会年月日	氏名	地区	形態	入会年月日	氏名	地区	形態
H7. 1. 1	伊藤 南美	麹 町	開 業	H7. 2. 1	奥田 佑子	麹 町	勤務等
"	齋田 登	"	"	"	北川 雄一	"	"
"	久保田 旨一	神 田	"	"	福田 義一	神 田	"
"	田所 真紀子	麹 町	勤務等	"	神田 奈穂美	京 橋	"
"	岩崎 欣一	"	"	H7. 3. 1	木曾 美恵子	京 橋	開 業
"	加藤 佐知子	"	"	"	篠崎 悦也	"	"
"	大塚 純子	"	"	"	立石 成章	麹 町	勤務等
"	鈴木 邦男	神 田	"	"	塚越 達佳	日本橋	"
"	山南 信章	"	"	H7. 4. 1	川上 郁夫	麹 町	勤務等
"	鈴木 康功	"	"	"	川上 信次郎	"	"
"	堀井 浩信	"	"	"	倉田 直美	"	"
"	吉井 勇	"	"	"	桜井 和枝	"	"
"	高林 利子	"	"	"	高柳 良久	"	"
"	山田 正幸	日本橋	"	"	荘司 信義	京 橋	"
"	谷 直樹	"	"	H7. 5. 1	山田 稲造	麹 町	開 業
"	小林 真理	"	"	"	河野 幸夫	"	勤務等
"	濱野 一衛	京 橋	"	"	目黒 佳子	神 田	"
"	白井 敬二	"	"	"	須田 格司	日本橋	"
"	久保 光彦	"	"	"	林 喜春	"	"
"	江崎 正澄	"	"	"	桑原 里香	"	"
H7. 2. 1	神山 巍	麹 町	勤務等				

—(平成6年12月31日～平成7年5月31日)—

会員異動状況

項目 地区	平成6年12月31日現在			異動(増減)			平成7年5月31日現在		
	開業	勤務等	計	開業	勤務等	計	開業	勤務等	計
麹町	人 42	人 173	人 215	人 2	人 1	人 3	人 44	人 174	人 218
神田	59	134	193	0	0	0	59	134	193
日本橋	29	110	139	△1	1	0	30	109	139
京橋	51	111	162	0	5	5	51	116	167
合計	181	528	709	3	5	8	184	533	717

各委員長の抱負

■ 総務委員長

松林 清雄 ■

このたび、平成7年5月16日の幹事・監査会議にて総務委員長の任に当たることになりました。浅学非才の私ではありますが、構成委員の皆さまは先達の方々ばかりですので、ご指導をいただきながら責務を果たすべく努力いたす所存であります。

総務委員は初体験ですので公私共々、どうかお手柔らかにお願い申し上げます。

さて本年度は、事業計画の理念に基づいて、また支部構成員729名のプロ集団の組織の飛躍のために事務局機能の充実化が重要かと考えられます。

さらに「まず変革してみて、そのうえで改善していく」という姿勢も必要かと思えます。どんな小さなことでも、例えば文書や帳簿の処理・管理・作成にしても、やる前に問題点はわかりません。まず事務局設置の方針を決め、組織を改革してみて、現場で何か問題が起きたらそこで解決するという考えのもとで、調和のとれた明るい楽しい人間関係を保ちつつ支部組織の発展を目指したいものです。

最後に、皆さまの暖かいご指導をお願い申し上げますとともに、支部のご発展を祈念し、就任の挨拶とさせていただきます。

■ 研修委員長

森 才一 ■

「老人と釘の頭は引っ込むがよい」と俗諺にあります。

厚生年金、雇用保険と改正の多い年度の研修委員長。勤めていれば雇用保険の継続給付を受給できない馬齢となっているので、なんで今さらと思いましたが、「老少前後す」との太平記の言葉もあります。

気持ちだけは若いを取り得。2年間の任期中はボケのくるのを先に延ばし、健康を呼び込みたいと思っています。

そのようなわけで、諸先輩・研修委員長経験者・現研修委員のご指導・ご協力をお願いいたします。

どこの国の諺か忘れましたが、「学問なき経験は、経験なき学問に勝る」の言葉が好きです。

千代田・中央支部は実務経験の多い会員が多数おりますので、その会員の経験を生かせる研修会をと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

■ 厚生委員長

眞島 功 ■

このたび厚生委員長を仰せつかることになりました。諸先輩を差し置いて、私のようなものが受けるべきでないことは承知しておりますが、仰せつかりました以上、委員ならびに会員の皆さまのお力添えをいただきながら微力ではございますが、本会の発展のため寄与してまいります。

さて、わが国は、人口の急速な少子高齢化や社会経済の長引く不況により産業構造の変革、雇用形態、労働意識の変化、これに加えて急激な円高等により企業にとっては厳しい時期を迎えており、社会保険労務士の果たす役割はますます重要となり、企業における期待は一層大きくなってまいります。

このような状況において、会員の皆さまの融和が一番必要かつ重要であると思っております。

これからは、会員の皆さまの意見を取り入れながら諸先輩が築きあげてくれた基礎をもとに、よりよい厚生の事業運営を図るため全委員一丸となって努力を尽くしてまいります。

皆さま方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

■ あとがきにかえて 岡 三徳 ■

近ごろ、通勤電車の中や、一杯飲み屋で年金の話を耳にすることがよくあります。私のうちの近所のおばさんたちの井戸端会議の重要議題の一つが年金問題のようで、時々、家内を通じて質問を受けることがあります。

ところで、銀行やその他公的な場所で、年金相談が行われていますが、その相談員は社労士会から派遣されていることを最近知りました。年金問題一つ取っても、社労士会の使命は今後、ますます大きくなることが考えられます。

そのようななかであって、このたび、広報委員長として会報の編集を担当することになり、実は大いに戸惑いました。能力も、経験も、時間もないからです。しかし、先日、今年度第1回の編集会議を開いて安堵しました。集まっていたいただいた委員の方々が、優秀な経験豊かな人ばかりで、私が心配することなどありませんでした。

各委員の世話役として努力いたしますので、何卒、皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(広報委員長)